



◆ “地域を知る” 学びを継続展開中です

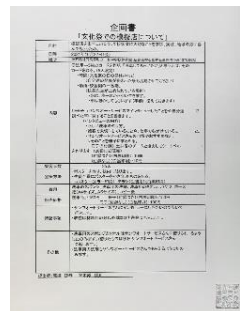
1年生は、総合的な学習の時間に“地域を知る”というテーマで学習をしています。ゲストティーチャーに来校いただいて学ぶだけでなく、自ら地域へ出て、五感をフル回転して学んでいます。9



月30日（木）には、古屋城跡へ、10月5日（火）には、阿下のぶどう園“楽々ファーム”へ出かけました。現地へ行ったからこそ、見聞きしたことにも実感がこもります。文化祭では、どんな発表を披露してくれるのか、とても楽しみです。

◆ 企画書づくり初体験

新しいことにどんどん取り組む1年生に負けじと、2年生の総合的な学習の時間も熱がこもってきました。新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態宣言発令により、職場体験が中止になってしまいました。ならば、自分達で聞き取り、取材し、製品作りをしよう、と動き出しました。取材へ行くのも、製品を作るのも、企画書を書き、校長先生の許可を取るところから自分達でします。もちろん、初めての体験で、何度も書き直しをして、やっと許可をもらうことができました。ただいま、文化祭での展示・模擬店に向けて準備に大忙しです。自分達でゼロから行動を起こす中で、働く事の一端を感じることができた気がします。



◆ はやぶさ塾出前授業体験

10月4日（月）、先月の教育講演会でお話をうかがった、油木高校はやぶさ塾の西本塾長さんが、はやぶさ塾の出前授業として再び来校してくださいました。3年生が50分間の体験に挑みました。事前に希望を聞いてくださっていて、希望する教科・単元に併せたプリントを作って持ってきてくださいました。“わからないときは答えを見てもいい。ただし、ただ見て写すのではなく、納得することが大事”という言葉をいただいて、学習がスタート。自分のペースで学習に取り組みました。最後には、学習方法のアドバイスもいただき、体験授業が終了、あっという間の時間でした。はやぶさ塾の出前体験授業は10月28日にも第2回が行われる予定です。

